

七彩の美 旭川ゆかりの画家たち

Paintings by Asahikawa Artists

会 期：令和元年11月30日（土）～令和2年3月15日（日）

※臨時休館により2月28日（金）で終了

主 催：北海道立旭川美術館

旭川最初の画会ヌタックカムシュッペ画会が1918(大正7)年に創立して100年。創成期に活躍した油彩画家高橋北修にはじまり、旭川の風景を真摯に描き続けた水彩画家佐藤進など旭川の美術の始まりを担った画家たちは、それぞれの表現世界を現在に残している。このほか旭川出身で日本を代表する抽象画家難波田龍起、富良野に住んで制作を続けた小野州一など具象、抽象を含めた多くの芸術家が多様な美術作品を生み出してきた。本展は、当館の作品収集のテーマでもある「道北の美術」の中から旭川ゆかりの絵画作品を展示するほか、「アートギャラリー北海道」連携館の富良野アートギャラリーが所蔵する小野州一の作品等を展示し、美術の側面から地域を見つめる機会とした。会期中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための対策として2月29日より臨時休館となった。2月28日までで2,028人の入場があった。

■関連事業

[30分でめぐる！ギャラリーツアー]

講 師：関口千代絵（当館学芸員）

会 場：第1展示室

（自由参加、要観覧券）



12月22日（日）午後2時～（約30分）

参加者数：3人



令和2年1月18日（土）午後2時～（約30分）

参加者数：13人



2月2日（日）午後2時～（約30分）

参加者数：12人

[ミュージアムコンサート]

2月1日（土）午後1時～（約30分）

出 演：池野麻里(アイリッシュハーブ)、季里(オカリナ)

会 場：ロビー

参加者数：78人

(参加無料)

[ギャラリートーク：旭川の実家たち]

2月15日(土) 午後2時～(約30分)

講師：新名英仁(市立小樽美術館長、元当館副館長)

会場：第1展示室

参加者数：15人

(自由参加、要観覧券)

[教員のための鑑賞研修]

12月7日(土) 午前11時～12時

講師：関口千代絵(学芸員)

会場：講堂、第1展示室

参加者数：9人

(募集制、参加無料)

[オリエンテーション]

(希望団体対象の解説、予約制、無料)

講師：学芸員

会場：講堂

実施回数：3回

参加者数：49人

■主な新聞記事等

北海道新聞 1/22(社告) 2/23 3/3 3/5(夕)

北海道通信 2/28

■広報印刷物

ポスター：B2縦、ホワイトニューVマット 135kg、片面カラー、1,450枚

チラシ：A4縦、ホワイトニューVマット 110kg、両面カラー、20,000枚

観覧券：(招待券)縦160×横65mm、(一般券)縦140×横60mm、ホワイトニューVマット 90kg、片面カラー、8,900枚

デザイン：アトリエベチカ

製作：株式会社総北海

七彩の美 旭川ゆかりの画家たち 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
1	関 兵衛	大雪山	不詳	油彩、板	
2	秋田 義一	風景	1922(大正11)	油彩、キャンバス	
3	上野山 清貢	硫黄山	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	
4	朝倉 力男	河畔吹雪去る	1946(昭和21)	油彩、キャンバス	
5	朝倉 力男	秋深し旭川神楽岡公園にて	不詳	水彩、紙	個人蔵
6	小熊 秀雄	自画像	1938(昭和13)	油彩、キャンバス	
7	小熊 秀雄	旭川にて	1938(昭和13)	水彩、インク、紙	
8	高橋 北修	ことお像	1924(大正13)	油彩、キャンバス	
9	高橋 北修	池辺にて見し	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	
10	高橋 北修	春暖	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	
11	高橋 北修	海豹島	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	
12	高橋 北修	島(樺太 海豹島にて)	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	
13	高橋 北修	郊外のかぼちゃ畑	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	
14	高橋 北修	路傍家族	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	
15	高橋 北修	路傍	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	
16	高橋 北修	丘上の街	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	
17	村山 陽一	自画像	昭和20年代	油彩、キャンバス	
18	村山 陽一	ドカン工場のある風景	不詳	油彩、キャンバス	旭川市教育委員会蔵
19	村山 陽一	郊外風景	1952(昭和27)	油彩、キャンバス	
20	村山 陽一	深海魚の夢	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	
21	村山 陽一	関所	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	旭川市教育委員会蔵
22	村山 陽一	浮遊する街	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	旭川市教育委員会蔵
23	村山 陽一	祭A	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	
24	難波田 龍起	初夏の粧い	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	
25	難波田 龍起	風景	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	
26	難波田 龍起	水の上	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	
27	難波田 龍起	生	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	
28	難波田 龍起	生の交響詩	1992(平成4)	油彩、キャンバス	
29	難波田 龍起	不思議な国 B	1984(昭和59)	油彩、キャンバス	
30	難波田 龍起	夜の生物苑	1970(昭和45)	油彩・エナメル、 キャンバス	
31	小野 州一	凸又は海	1961(昭和36)	油彩、木炭、ドンゴ ロス	

32	小野 州一	パリ	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	個人蔵
33	小野 州一	バラ色の風景 (巴里)	1977(昭和52)	油彩、キャンバス	
34	小野 州一	婦人像	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	
35	小野 州一	青の中の静物	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	
36	小野 州一	黒いバックの花	1990(平成2)	油彩、キャンバス	個人蔵
37	小野 州一	花とフルーツ	1990(平成2)	油彩、クレヨン、鉛筆、ボード	
38	小野 州一	静物	1996(平成8)	油彩、キャンバス	
39	小野 州一	美馬牛峠(絶筆)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	富良野市教育委員会蔵
40	小野 州一	グレイのアトリエ	1984(昭和59)	油彩、キャンバス	富良野市教育委員会蔵
41	小野 州一	窓辺の静物	1999(平成11)	油彩、キャンバス	個人蔵
42	上野 憲男	作品 赤	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	
43	上野 憲男	白いフィールド	1976(昭和51)	油彩、キャンバス	
44	上野 憲男	壁ぎわの男	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	
45	上野 憲男	SHADOW OF HAND	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	
46	上野 憲男	朝へ	1984(昭和59)	油彩、キャンバス	
47	上野 憲男	「海の外側に沿って」銅版画集 海の上のイカロス	1979(昭和54)	エッチング、アクアチント、紙	
48	上野 憲男	「海の外側に沿って」銅版画集 海の外側に沿って	1979(昭和54)	エッチング、アクアチント、サルファチント、シュガー・アクアチント、紙	
49	上野 憲男	「海の外側に沿って」銅版画集 ドルフィン・ストリート	1979(昭和54)	シュガー・アクアチント、紙	
50	上野 憲男	「海の外側に沿って」銅版画集 イン・ザ・ブルー	1979(昭和54)	ドライポイント、サルファチント、アクアチント、紙	
51	上野 憲男	「海の外側に沿って」銅版画集 サン・ライズ、サン・セット	1979(昭和54)	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント、サルファチント、紙	
52	山口 健智	小海老の静物	1976(昭和51)	油彩、板	
53	山口 健智	静物一切れた電球	1965(昭和40)頃	油彩、キャンバス	
54	山口 健智	中庭にて	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	旭川市教育委員会蔵
55	山口 健智	部屋の片隅	1976(昭和51)	油彩、板	
56	山口 健智	小さなもの	1970(昭和45)	油彩、板	旭川市蔵
57	山口 健智	紙片など	1972(昭和47)	油彩、板	
58	山口 健智	壁	1964(昭和39)頃	油彩、キャンバス	
59	佐藤 進	第3号温室(北大植物園にて)	1941(昭和16)	水彩、紙	
60	佐藤 進	廃屋	1967(昭和42)	水彩、紙	

61	佐藤 進	館	1980 (昭和55)	水彩、紙
62	佐藤 進	丘	1981 (昭和56)	水彩、紙
63	佐藤 進	鳥ぐもり	1982 (昭和57)	水彩、紙
64	佐藤 進	構内雪景(札幌豊平館)	1944 (昭和19)	水彩、紙

※作品は特に表記のない場合は当館蔵

4-2 所蔵品展

感じるアートーイロ・カタチ・ココロ

Feeling the Spirit of Art: Colors, Forms and Intentions

風景画、花鳥画、人物画といった具象的な形から解放された自由な色や形によって作家は、言葉や形にならない「ココロ」を表現した作品を制作する。本展では百瀬寿、矢柳剛などの平面、及び山中晴夫などの工芸など10作家29作品を展覧した。観覧者は令和元年度の14日間で543名にのぼった。

会 期：4月1日(月)～4月17日(水)

主 催：北海道立旭川美術館

ニュー ストーリーズ

New Stories Revealed By Our New Acquisitions

2018年度の新収蔵品によって、新たに語ることができるように作品や作者についての物語を紹介した。初期の旭川画壇で活躍した秋田義一、十勝ゆかりの抽象木彫家・岡沼淳一、現代木彫の旗手の一人として注目された神山明、旭川発祥で全国的なプロジェクトにまで発展した「君の椅子」の作品を、それぞれの関連作品とともに展示。6,706人の観覧者を迎えた。

会 期：4月27日(土)～9月1日(日)

主 催：北海道立旭川美術館

■関連事業

[ギャラリートーク]

会 場：第2展示室

(自由参加、要観覧券)



6月8日(土) 午後2時～(約30分)

講 師：新明英仁氏(市立小樽美術館館長)

参加人数：11名



7月17日(水) 午後2時～(約30分)

講師：門間仁史(主任学芸員)

参加人数：4名



7月24日(水) 午後2時～(約30分)

講師：佐藤由美加(学芸課長)

参加人数：5名



8月13日(火) 午後2時～(約30分)

講師：関口千代絵(学芸員)

参加人数：2名



8月31日(土) 午後2時～(約30分)

講師：五十嵐聡美氏(北海道立近代美術館学芸統括官)

参加人数：25名

■主な新聞記事等

北海道新聞 6/7

北海道通信 4/4 5/13 7/10

自然の風景 日本画の世界

Japanese-style Landscape Paintings

旭川市出身の福井爽人の作品を中心に、自然をモチーフとした作品を展示。当館の所蔵作品のほかに、北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館からも作品を借用して、日本画ならではの色彩豊かで個性溢れる世界を紹介した。第1展示室の「岩橋英遠展」との相乗効果もあって、51日間での観覧者数は4,476人にのぼった。

会 期：9月14日(土)～11月10日(日)

主 催：北海道立旭川美術館

■関連事業

9月28日(土) 午前11時～(約30分)

講師：福井爽人氏(日本画家)

会 場：第2展示室

参加人数：38名

(自由参加、要観覧券)

[北海道教育大学旭川校連携ギャラリー・トーク]

10月12日(土) 午後2時～(約30分)

講 師：大石朋生氏(同校准教授/日本画)

会 場：第2展示室

参加人数：50名

(自由参加、要観覧券)

■主な新聞記事等

北海道新聞 11/30 12/5

北海道通信 11/12 11/22

没後30年 砂澤ビッキ展

Wooden Sculptures by SUNAZAWA Bikky

旭川生まれの彫刻家砂澤ビッキは、阿寒、鎌倉、札幌と拠点を移しながら制作を続け、1978(昭和53)年、制作環境を求めて音威子府村へ移住。廃校となった小学校をアトリエにし、音威子府村で得られた木材を使って、次々と大作を生み出し、57歳で亡くなるまで同地で制作を続けた。本展では、当館が所蔵する10点の砂澤ビッキ作品に音威子府村が所蔵する書籍や作家愛用の工具と画材を加えて作家の制作を紹介した。

会 期：令和元年11月30日(土)～令和2年1月19日(日)

主 催：北海道立旭川美術館

■関連事業

[北海道教育大学旭川校連携ギャラリー・トーク]

12月7日(土) 午後2時～(約30分)

講 師：岩永啓司氏(同校准教授/彫刻)

会 場：第2展示室

参加人数：20名

(自由参加、要観覧券)

■主な新聞記事等

北海道新聞 11/30 12/6

北海道通信 12/4

イロイロな木

Painted Wooden Creations

木彫作品の色に着目し、木の特徴である美しい木目をあえて隠すことによって成り立つ表現の数々を紹介した。塗る、貼る、焦がすといった技法により色づけされた木彫、木工芸の作品を展示し、素材としての木の可能性を多角的に検証する内容で、2月28日までに621人の観覧者を迎えたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休館により、会期中で終了した。

会 期：令和元年1月23日(木)～3月15日(日) ※臨時休館により2月28日(金)で終了

主 催：北海道立旭川美術館

■主な新聞記事等

北海道新聞 2/28(臨時休館告知)

北海道通信 2/10

感じるアートーイロ・カタチ・ココロ 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)
1	百瀬 寿	Square-Pink to Yellow	1981(昭和56)	シルクスクリーン・紙	70.0×70.0
2	百瀬 寿	Square-between Pink and Yellow	1981(昭和56)	エアープラシ、アクリル絵の具・パネル	140.0×140.0
3	上野 憲男	SHADOW OF HAND	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	163.0×163.0
4	上野 憲男	海流	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	162.2×162.2
5	村山 陽一	生態	1958(昭和33)	グワッシュ・紙	72.4×53.8
6	村山 陽一	祭りB	1958(昭和33)	グワッシュ・紙	57.0×37.0
7	塩田 慥洲	五風十雨	1971(昭和46)	墨、紙	69.5×138.0
8	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 1	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
9	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 2	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
10	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 3	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
11	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 4	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
12	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 5	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	79.0×55.0
13	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 6	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	79.0×55.0
14	巖 嘸	Rainbow Passes Slowlyより from the Dictionary 7	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
15	難波田 龍起	風景	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	50.0×60.5
16	矢柳 剛	愛の動物誌II (L)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
17	矢柳 剛	愛の動物誌II (M)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
18	矢柳 剛	愛の動物誌II (N)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
19	矢柳 剛	愛の動物誌II (O)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
20	矢柳 剛	愛の動物誌II (P)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
21	矢柳 剛	愛の動物誌II (Q)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
22	矢柳 剛	愛の動物誌II (R)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
23	矢柳 剛	愛の動物誌II (S)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
24	矢柳 剛	愛の動物誌II (T)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
25	矢柳 剛	愛の動物誌II (U)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
26	山中 晴夫	海の中の音楽会	1987(昭和62)	カバ、サクラ、トチ、ナラ・彩色	50.0×13.0×44.0
27	山下 三郎	楼	1981(昭和56)	スギ・彩色	8.0×21.0×10.5
28	山下 三郎	組閣	1981(昭和56)	スギ・彩色	15.0×7.5×11.0
29	菊池 光典	戯端箱	1992(平成4)	黒檀、カバ、キリ<ツヤ消しウレタン塗装>	41.0×33.0×30.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

ニュー ストーリーズ 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)
1	秋田 義一	風景	1922 (大正11)	油彩、キャンヴァス	45.5×52.7
2	関 兵衛	大雪山	制作年不詳	油彩、板	46.0×53.2
3	高橋 北修	ことぢ像	1924 (大正13) 頃	油彩、キャンヴァス	60.6×45.5
4	小熊 秀雄	自画像	1938 (昭和13)	油彩、キャンヴァス	45.3×33.5
5	岡沼 淳一	六月の翳	2004 (平成16)	ニレ (埋もれ木)、ナ ラ (埋もれ木)	57.0×220.0× 60.0
6	岡沼 淳一	残雪	1995 (平成7)	ニレ (埋もれ木)、鉄	70.5×66.0× 10.0
7	岡沼 淳一	あやふやな空	1991 (平成3)	ニレ (埋もれ木)	236.0×120.0× 28.0
8	神山 明	風の時代	1990 (平成2)	スギ、オイルステン	125.0×176.0× 50.0
9	神山 明	たしか、このあたりだと思う	1984 (昭和59)	スギ、オイルステン	50.5×100.0× 82.0
10	神山 明	いつもの道に迷いこむ	1988 (昭和63)	スギ、オイルステン	170.0×300.0
11	神山 明	すべてを知りたい時もある	1991 (平成3)	スギ、オイルステン、 綿ロープ	90.0×140.0× 140.0
12	デザイン：川上元美 制作：服部勇二、(株)匠工 芸	君の椅子2018	2018 (平成30)	ミズナラ	31.0×35.0× 46.0
13	デザイン：中村好文 制作：大門巖	2006 君の椅子	2006 (平成18)	イタヤカエデ、カバ、 クルミ、ナラ等	34.5×30.0× 28.5
14	デザイン：伊藤千織 制作：宮地鎮雄	2007 君の椅子	2007 (平成19)	クルミ	31.0×35.0× 46.0
15	デザイン：前川秀樹 制作：向坊明	2008 君の椅子	2008 (平成20)	クルミ	40.0×32.0× 28.0
16	デザイン：小泉誠 制作：大門巖、大門和真	2009 君の椅子	2009 (平成21)	サクラ (脚)、クルミ (座面)	33.5×28.0× 30.0
17	デザイン：三谷龍二 制作：服部勇二	2010 君の椅子	2010 (平成22)	ナラ	33.5×28.0× 30.0
18	デザイン：大竹伸朗 制作：宮地鎮雄	2011 君の椅子	2011 (平成23)	クルミ	25.3×24.2× 47.7
19	デザイン：中尾紀行 制作：(株)匠工芸	希望の「君の椅子」	2011 (平成23)	ナラ、竹 (竹釘)	26.5×24.0× 37.7
20	デザイン：出光晋 制作：服部勇二	君の椅子2012	2012 (平成24)	ブナ	34.9×27.0× 27.5
21	デザイン：笠原嘉人 制作：向坊明、(株)匠工芸	君の椅子2013	2013 (平成25)	ミズナラ、ニレ	44.0×25.5× 24.0
22	デザイン：谷進一郎 制作：菊池聖、(株)匠工芸	君の椅子2014	2014 (平成26)	ミズナラ	28.5×26.5× 34.0
23	デザイン：中村好文 制作：大門和真、(株)匠工 芸	君の椅子2015	2015 (平成27)	ミズナラ	36.5×31.5× 27.0
24	デザイン：小林幹也 制作：鳥羽山聡、(株)匠工 芸	君の椅子2016	2016 (平成28)	ミズナラ	41.0×34.0× 29.0
25	デザイン：中村昇 制作：服部勇二、(株)匠工 芸	君の椅子2017	2017 (平成29)	ミズナラ	35.0×32.0× 29.5

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

自然の風景 日本画の世界 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)
-----	-----	-----	-----	-------	---------

1	片岡球子	めで多き富士	2003 (平成15)	リトグラフ、紙	56.0×69.5
2	片岡球子	富士	1975 (昭和50)	紙本彩色	115.0×78.5
3	福井爽人	海の賦	1977 (昭和52)	紙本彩色	103.0×103.0
4	福井爽人	北の岬	1993 (平成5)	紙本彩色	71.7×89.9
5	福井爽人	彩の刻	2008 (平成20)	紙本彩色	180.0×360.0
6	福井爽人	煌	1999 (平成11)	紙本彩色	180.0×270.0
7	福井爽人	沼の風景	2002 (平成14)	紙本彩色	177.0×360.0
8	福井爽人	サン・マリーへの道	2006 (平成18)	紙本彩色	195.0×210.0
9	千住博	ウォーターフォール	1998 (平成10)	岩絵の具、雲肌麻紙	227.3×182.0
10	大石朋生	雫	2014 (平成26)	岩絵の具、麻紙	215.0×170.0
11	小浜亀角	神居古潭	1961 (昭和36)	紙本彩色	215.0×170.0
12	小浜亀角	晩春の大雪山	1974 (昭和49)	紙本彩色	223.0×170.0
13	日高理恵子	落葉松	1987 (昭和62)	岩絵の具、麻紙	182.0×324.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

没後30年 砂澤ビッキ展

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)
1	砂澤ビッキ	崑面	1975 (昭和50)	木	36.0×21.0×11.5
2	砂澤ビッキ	崑面	1975 (昭和50)	墨・紙	27.7×21.5
3	砂澤ビッキ	題不詳	1979 (昭和54)	鉛筆・紙	40.0×30.4
4	砂澤ビッキ	集吸呼 A	1986 (昭和61)	クルミ、カツラ	198.0×146.0×35.0
5	砂澤ビッキ	TOH	1987 (昭和62)	鉛筆、水彩・紙	52.7×34.6
6	砂澤ビッキ	北の王	1987 (昭和62)	クレヨン、水彩・紙	53.0×35.5
7	砂澤ビッキ	北の王妃	1987 (昭和62)	クレヨン、水彩・紙	44.0×38.0
8	砂澤ビッキ	鳥の巣 (椅子)	1980 (昭和55)	カツラ、タモ	97.0×73.0×186.0
9	砂澤ビッキ	午前3時の玩具	1987 (昭和62)	カツラ	34.0×80.0×20.0
10	砂澤ビッキ	ニツネカムイ	1988 (昭和63)	カツラ、クルミ、タモ	122.0×36.0×48.0
11	砂澤ビッキ	四季の面	1988 (昭和63)	ニレ (埋もれ木)、カツラ、ナラ	63.0×46.0×242.5
12	砂澤ビッキ	風の王と王妃	1988 (昭和63)	タモ	44.0×37.5×172.5
13	砂澤ビッキ	風の王と王妃	1988 (昭和63)	タモ	24.0×19.5×56.5

書籍

書名	発行年	著者
----	-----	----

1	Creative Wood Craft	1960	ERNST RÖTTGER
2	エロス絵画集	1968(昭和43)	
3	夢野久作全集 6	1970昭和45)	
4	AMERICAN INDIAN DESIGN&DECORETION	1971	LE ROY H. APPLETON
5	images stone b..c.	1975	WILSON DUFF
6	青い砂丘にて	1976 (昭和51)	砂澤ビッキ

資料

1	砂澤ビッキ 第2回木面展 パンフレット	1975 (昭和51)
2	画材、工具、手袋など	
3	第10回樹を語り作品展	1988 (昭和63)
4	砂澤ビッキを偲ぶ会 目録	1990(平成2)
5	偲ぶ会で配布された記念版画	1990(平成2)
6	郷土誌あさひかわ 2月号	1989(平成元)
7	第11回 樹を語り作品展 砂澤ビッキ遺作展	1989(平成元)
8	第14回 樹を語り作品展	2009 (平成11)

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

イロイロな木 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法/材質	寸法 (cm)
1	山下 三郎	楼	1981 (昭和56)	スギ、彩色	各 10.5×8.0×21.0
2	山下 三郎	組閣	1981 (昭和56)	スギ、彩色	各 11.0×15.0×7.5
3	村上 善男	箱的終焉 (第二案)	1987 (昭和62)	紙、廃材、古文書、アクリルラッカー塗装	27.0×27.0×24.0
4	柰田 たけを	神の宿る箱	1987 (昭和62)	廃材	51.0×48.7×49.5
5	板津 邦夫	僕の夏休み自由研究4年2組 板津邦夫	2004 (平成16)	木、アクリル絵具	46.0×31.2×5.3
6	板津 邦夫	僕の夏休み自由研究4年2組 板津邦夫	2004 (平成16)	木、アクリル絵具	31.2×23.7×4.8
7	川越 悟	crops 8903	1989 (平成元)	クス、アクリル絵具	233.0×69.0
8	川越 悟	éperon 9007	1990 (平成2)	クス、アクリル絵具	50.0×32.0×20.0
9	三沢 厚彦	Animal 2000-02	2000 (平成12)	クス、油彩	177.0×65.0×196.0
10	三沢 厚彦	"Drawing" 2000	2000 (平成12)	油彩、紙	41.8×31.0
11	遠藤 利克	泉	1992 (平成4)	スプルース、鉄、タール	136.0×104.0
12	彦坂 尚嘉	PWP44 インディアン・サマー	1981 (昭和56)	木、アクリル絵具	229.0×171.5×16.6
13	阿部 典英	Mokuhosojin	1986 (昭和61)	シナ、イタヤカエデ、染料、黒鉛、メジュウム	275.0×155.0×45.0

14	阿部 典英	オヨメサン ト ウッヒヒ	1992 (平成4)	クルミ、アクリル絵具、ニス	220.5×185.0×3.5
15	阿部 典英	オヨメサンガ23のホクロ	1990 (平成2)	シナ、カラマツ、シラカバ、セン、タケ、アクリル絵具、黒鉛、メジウム、ニス	214.0×255.0×10.0
16	豊福 智徳	漂流'97	1997 (平成9)	マホガニー、水彩絵具	149.5×246.0×77.0
17	豊福 智徳	漂流'97 ドローイング	1995 (平成7)	鉛筆・紙	100.0×70.0
18	深井 隆	逃れゆく思念ー青空または瞑想	1991 (平成3)	クス、金箔	135.0×130.0×55.0
19	チョン・ウジン	ハーフ・チェア 0p.1	2011 (平成23)	ホワイトアッシュ<オイルステイン塗装仕上げ、ウレタン塗装仕上げ>	70.0×48.8×34.0
20	大門 巖	Wood Powder Box	1992 (平成4)	ナラ、キリ、シナ、木の粉(ナラ、黒檀、カリシ、タモの埋れ木、マユミ、ローズウッド、バドック、ウォールナット)、日本用ウレタン塗装	9.0×32.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

5 教育普及事業

項目毎に、日時または期日、内容、講師、会場、聴講者または参加者数を記した。その他の場合は特記した。

(1) ワークショップ等

■工作アトリエ

休業期間中の小学生と保護者を対象に工作の機会を設け、子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、創作の楽しさを体験してもらった。



夏休み工作アトリエ「カラクリ！おりがみで動物作りコーナー」

8月13日(火)～8月15日(木)午前10時～午後4時

会場：ロビー

参加者数：64人

(自由参加、参加無料)

■ウッディ★工作アトリエ 2020「木のおもちゃづくり」

(募集制、参加料：レクリエーション保険料)



1月10日(金)午後1時～4時

講師：堀川真氏(絵本作家、名寄市立大学准教授)、学芸員

会場：講堂、第1展示室、第2展示室

参加者数：24人



1月11日(土)午前10時～午後4時

講師：かたるべの森美術館

会場：講堂、第1展示室、第2展示室

参加者数：25人

■展覧会関連事業

以下の事業を展覧会に関連して行った。詳細は各頁を参照。



講演会／特別講演会 (p9、27)



コンサート／演奏会 (p.5、19、27、32)



記念茶会 (p.26)



北海道教育大学旭川校連携ギャラリー・トーク (p.19、39)

(2) 連携事業

●学校教育との連携事業

小学校、中学校、大学との連携により、学校教育における美術館の活用促進を図った。

■教員のための鑑賞研修

上川管内の小中高等学校ならびに特別支援学校の教員を対象に、学芸員による解説ツアーと鑑賞の機会を設け、児童生徒の鑑賞の推奨に役立ててもらうことをねらった。特別展毎に、1回行った。詳細は各展覧会関連事業の項目を参照。(募集制、参加無料)

計4回 63人

■旭川地域連携アートプロジェクト

北海道教育大学旭川校(美術教育)・上川管内と旭川の中学校美術部顧問の教員・美術館(旭川市彫刻美術館、当館)の連携による鑑賞教育とワークショップを行った。

主催：北海道立旭川美術館、上川旭川中学校美術部連携協議会、北海道教育大学旭川校、旭川地域連携アートプロジェクト



鑑賞プログラム「ブリティッシュ・オートマタ」展

「ブリティッシュ・オートマタ」展に関わるギャラリー・トーク、ワークショップを実施するとともに、上記展の鑑賞を行った。

7月13日(土)、7月25日(木)、7月26日(金)、7月30日(火)、8月8日(木)、8月9日(金)

各日午前9時50分～12時10分、午後1時～3時

会場：講堂、第1展示室、第2展示室、ロビー

スタッフ：北海道教育大学旭川校教授(美術教育)、北海道教育大学旭川校学生ボランティア、上川／旭川の中学校美術部顧問、当館学芸員

参加中学校：旭川市立明星中美術部、神居中美術部、神居東中美術部、忠和中美術部、永山南中美術部、附属旭川中美術部、旭川市立北星中美術部、北門中美術部、上富良野町立上富良野中美術部、旭川市立東明中美術部、東陽中美術部、緑が丘中美術部、光陽中美術部、東川町立東川中美術部、富良野市立富良野東中美術部、富良野西中美術部、愛別町立愛別中美術部、旭川市立旭川中美術部、旭川市立啓北中美術部、広陵中美術部、士別市立士別南中美術部、東神楽町立東神楽中美術部 348人

■出張アート教室

所蔵作品の有効利用を図るため、学芸員が学校に作品を持参し、児童・生徒に美術の楽しさを体験できる機会を提供した。

10月31日（木）

実施校：留萌市立緑丘小学校

講師：関口千代絵（学芸員）

テーマ：「緑を描くー自然を見つめる眼ざしー」

作品：佐藤進《館》1980年、高坂和子《夏惜しむ》1987年

参加人数：留萌市立緑丘小学校生 55人

■キャンパス・パートナーシップ

道立美術館・博物館は大学等の教育機関と連携して芸術文化について学ぶ機会を拡充する「北海道立美術館・博物館キャンパス・パートナーシップ」制度を設けている。旭川では北海道教育大学旭川校及び北海道医学技術専門学校が参加した。

利用者数：250人

（3）ボランティア活動

昭和57（1982）年の開館時から、ボランティア常磐会によるボランティア活動が行われている。内容は喫茶「常磐の樹」ならびにミュージアムショップ（常設、特設）の運営。活動員数は約50名。

（4）協力事業

■小中学校の総合的な学習への対応

小中学校における総合的な学習のために美術館を活用したいという要請に対応した。

6 美術作品の収集

■令和元年度の作品収集について

当館は、地域の特色を生かしたコレクションづくりを目標とし、「道北の美術」と「木の造形」を作品収集の大きなテーマとしている。令和元年度は購入予算の措置はなされなかったが、個人所蔵家、作家等から寄贈の申し入れを受け、油彩画、木彫、版画、工芸の作品21点と資料2点の計23点収集し、コレクションの充実を図ることができた。

「道北の美術」に関わる作品として、まず絵画では、初期の旭川画壇で活動した朝倉力男、美瑛を拠点に活動した小野州一、学生時代を旭川で過ごした百瀬寿の作品をそれぞれ収蔵した。このうち百瀬は北海道立旭川美術館ボランティア常磐会からの寄贈であった。継続して旭川美術館の活動に協力し、時に独自に作品を購入して寄贈までしていただける厚情には感謝の念が尽きない。

版画では、青年時代を旭川で過ごし、グループ黄土など旭川の重要な美術運動にも関わった遠藤享、1970年代から旭川を拠点とし、現代美術の運動に中心的立場に関わり続けてきた荒井善則の作品が、それぞれ作者本人から寄贈された。いずれの作家もすでに当館で所蔵があったが、今回の収蔵によりさらに多角的な視点から作家像を検証できるようになり、意義ある収蔵となった。

「木の造形」では、戦後の抽象彫刻において独自の存在感を放った砂澤ビッキの「木面」シリーズの一点が寄贈された。砂澤は旭川出身で、当館のコレクションにおいてもとりわけ重要な作家のひとりである。これまで当館では1980年代の作品を中心に収集してきたため、70年代の作が加わることでコレクションに厚みをもたせることができた。

すでに文化再生のプロジェクトとして全国的に認知されている「君の椅子」は、「道北の美術」と「木の造形」の双方に関わり、当館のコレクションにおいても重要な位置を占める作品群となっている。当館では平成18（2006）年にスタートした同プロジェクトの椅子をすべて所蔵しており、その数は今回で15点目となった。

これらの受贈により、総作品数は721点、資料125点となった。

■令和元年度作品収集状況

作品

分野	平成30年度末 作品収蔵数	令和元年度作品収集数			作品総数
		購入	受贈	合計	
油彩	166点(23.7%)	0点	3点	3	169点(23.4%)
日本画	18 (2.6%)	0	0	0	18 (2.5%)
水彩・素描	166 (23.7%)	0	2	2	168 (23.3%)
書	0 (0.0%)	0	0	0	0 (0.0%)
版画	115 (16.4%)	0	14	14	129 (17.9%)
彫塑	141 (20.1%)	0	1	1	142 (19.7%)
工芸	92 (13.1%)	0	1	1	93 (12.9%)
写真	2 (0.2%)	0	0	0	2 (0.3%)
デザイン	0 (0.0%)	0	0	0	0 (0.0%)
合計	700 (100%)	0	21	17	721 (100%)

注) () 内の数字は、小数点第二位まで求め、四捨五入して記載した。

資料作品

分野	平成30年度末 資料作品収蔵数	令和元年度資料作品収集数			資料作品総数
		購入	受贈	合計	
油彩	1	0	0	0	1
日本画	0	0	0	0	0
水彩・素描	110	0	1	1	111
書	1	0	0	0	1
版画	3	0	1	1	4
彫塑	1	0	0	0	1
工芸	1	0	0	0	1
写真	0	0	0	0	0
デザイン	2	0	0	0	2
その他	4	0	0	0	4
合計	123	0	2	2	125

■令和元度作品収集一覧

受贈作品一覧

所蔵作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法
2019001	油彩	小野州一	黒いバックの花	1990 (平成2)	油彩、キャンバス	縦82.2×横62.3cm
2019002	油彩	小野州一	窓辺の静物	1999 (平成11)	油彩、キャンバス	縦162.1×横162.1cm
2019003	油彩	百瀬 寿	NE. Blue to Black	2015 (平成27)	アクリル、和紙	縦120.0×横120.0cm
2019004	水彩	朝倉力男	秋深し旭川神楽岡公園にて	不詳	水彩、紙	縦32.0×横50.0cm
2019005	素描	砂澤ビッキ	題不詳	1979 (昭和54)	鉛筆、紙	縦40.0×横30.4cm
2019006	版画	荒井善則	Traces of the Tape	1990 (平成2)	モノタイプ、布、墨、朱墨	縦90.0×横90.0cm 10点組
2019007	版画	荒井善則	Soft Landing to Season 2013	2013 (平成25)	シルクスクリーン、モノタイププリント、紙	縦81.0×横149.0cm
2019008	版画	荒井善則	Soft Landing to Season 2013	2013 (平成25)	シルクスクリーン、モノタイププリント、紙	縦81.0×横149.0 cm
2019009	版画	荒井善則	Soft Landing to Season 2018	2018 (平成30)	シルクスクリーン、モノタイププリント、紙	縦60.0×横80.3 cm(2点) 縦65.3×横65.3cm(2点) 縦99.9×横33.3cm(1点)
2019010	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE/NATURE-0605	2006 (平成18年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦75.0×横55.0cm
2019011	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE/NATURE-0704	2007 (平成19年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦75.0×横55.0cm
2019012	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE/NATURE-0804	2008 (平成20年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦75.0×横55.0cm
2019013	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE/NATURE-1003	2010 (平成22年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦55.0×横75.0cm
2019014	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE/NATURE-1201	2012 (平成24年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦61.0×横41.5cm
2019015	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE N1403	2014 (平成26年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦46.5×横31.0cm
2019016	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE N1406	2014 (平成26年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦46.3×横31.0cm
2019017	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE N1417	2014 (平成26年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦46.5×横31.0cm
2019018	版画	遠藤 享	SPACE&SPACE N1503	2015 (平成27年)	紙(アルシュ)、オフセット・リトグラフ	縦60.0×横40.0cm

2019019	版画	遠藤 享	SPACE&SPA CE N1513	2015 (平成27年)	紙(アルシュ)、オフセッ ト・リトグラフ	縦46.0×横31.0cm
2019020	彫刻	砂澤ビッキ	甗面	1975 (昭和50)	木	高36.0×幅21.0×厚 11.5cm
2019021	工芸	デザイン:ステューレ・エンゲ 制作:服部勇二、(株)匠工芸	君の椅子 2019	2019 (平成31)	ミズナラ	高41.0×幅32.5×奥行 26.0cm
2019022	資料 (書)	砂澤ビッキ	甗面	1975 (昭和50)	墨、紙	縦27.5×横21.5 cm
2019023	資料 (版画)	砂澤ビッキ	題不詳	1979 (昭和54)	木版、紙	縦32.5×横38.5cm

作品目録

凡例

- この目録には、令和元年4月1日から令和2年3月31日までに、北海道立旭川美術館に収蔵された作品を収録した。
- 各作品は作者名によって次の通り分類した。
木の造形／道北の美術／北海道の美術／国内・海外の美術
- 作者名は、各分類ごとに50音順に配列した。
- 各作品のデータ記載事項と順序は次の通りである。
作家名、同英文、生没年、作品名、同英文、制作年、材質・技法、寸法、収集の経緯、所蔵番号。
- データ記載事項のうち、該当事項のないものは表記を省略した。
- 寸法は、センチメートルを単位とし、立体作品は高さ×幅×奥行の順に記載した。

■道北の美術 Art of Northern Hokkaido

作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法	収集の経緯	所蔵番号
1 小野州一 ONO Shuichi	1927(昭和2)～ 2000(平成12)	黒いバックの花 Flowers on a Black Background	1990 (平成2)	油彩、キャンバ ス	82.2× 62.3	小野恵津子氏より 受贈	2019001
2 小野州一 ONO Shuichi	1927(昭和2)～ 2000(平成12)	窓辺の静物 Still Lives by the Window	1999 (平成11)	油彩、キャンバ ス	162.1× 162.1	小野恵津子氏より 受贈	2019002
3 百瀬 寿 MOMOSE Hisaashi	1944(昭和19)年～	NE. Blue to Black	2015 (平成27)	アクリル、和紙	120.0× 120.0	北海道立旭川美 術館ボランティア 常磐会より受像	2019003
4 朝倉力男 ASAKURA Rikio	1903(明治36)～ 1989(平成元)	秋深し旭川神楽 岡公園にて At the Asahikawa Kaguraoka Park in Deep Autumn	不詳	水彩、紙	32.0× 50.0	猪川路子より受贈	2019004
5 荒井善則 ARAI Yoshinori	1949(昭和24)～	Traces of the Tape	1990 (平成2)	モノタイプ、布、 墨、朱墨	90.0× 90.0 10点組	荒井善則氏より受 贈	2019006
6 荒井善則 ARAI Yoshinori	1949(昭和25)～	Soft Landing to Season 2013	2013 (平成25)	シルクスクリー ン、 モノタイププリン ト、紙	81.0× 149.0	荒井善則氏より受 贈	2019007
7 荒井善則 ARAI Yoshinori	1949(昭和26)～	Soft Landing to Season 2013	2013 (平成25)	シルクスクリー ン、 モノタイププリン ト、紙	81.0× 149.0	荒井善則氏より受 贈	2019008
8 荒井善則 ARAI Yoshinori	1949(昭和27)～	Soft Landing to Season 2018	2018 (平成30)	シルクスクリー ン、 モノタイププリン ト、紙	60.0×80.3 (2点) 65.3× 65.3(2点) 99.9× 33.3(1点)	荒井善則氏より受 贈	2019009
9 遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和8)～	SPACE&SPAC E/NATURE- 0605	2006 (平成18年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	75.0× 55.0	遠藤享氏より受贈	2019010

10	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和9)～	SPACE&SPAC E/NATURE- 0704	2007 (平成19年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	75.0× 55.0	遠藤享氏より受贈	2019011
11	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和10)～	SPACE&SPAC E/NATURE- 0804	2008 (平成20年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	75.0× 55.0	遠藤享氏より受贈	2019012
12	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和11)～	SPACE&SPAC E/NATURE- 1003	2010 (平成22年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	55.0× 75.0	遠藤享氏より受贈	2019013
13	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和12)～	SPACE&SPAC E/NATURE- 1201	2012 (平成24年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	61.0× 41.5	遠藤享氏より受贈	2019014
14	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和13)～	SPACE&SPAC E N1403	2014 (平成26年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	46.5× 31.0	遠藤享氏より受贈	2019015
15	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和14)～	SPACE&SPAC E N1406	2014 (平成26年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	46.3× 31.0	遠藤享氏より受贈	2019016
16	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和15)～	SPACE&SPAC E N1417	2014 (平成26年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	46.5× 31.0	遠藤享氏より受贈	2019017
17	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和16)～	SPACE&SPAC E N1503	2015 (平成27年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	60.0× 40.0	遠藤享氏より受贈	2019018
18	遠藤 享 ENDO Susumu	1933(昭和17)～	SPACE&SPAC E N1513	2015 (平成27年)	紙(アルシュ)、オ フセット・リトグラ フ	46.0× 31.0	遠藤享氏より受贈	2019019

■木の造形 Art in Wood

	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法	収集の経緯	所蔵番号
1	砂澤ビッキ SUNAZAWA Bikky	1931(昭和6)～ 1989(平成元)	題不詳 Untitled	1979 (昭和54)	鉛筆、紙	40.0× 30.4	荒井善則氏より受 贈	2019005
2	砂澤ビッキ SUNAZAWA Bikky	1931(昭和6)～ 1989(平成元)	崑面 Mask: Joy	1975 (昭和50)	木	36.0× 21.0× 11.5	荒井善則氏より受 贈	2019020

3	デザイン/ステューレ・エンゲ 制作/服部勇二、(株)匠工 芸 Designed by Sture Eng, Made by HATTORI Yuji, TAKUMI KOHGEI Co., Ltd.	エンゲ/1934(昭和 9)~ 服部/1955(昭和 30)~ 匠工芸/1979(昭和 54)~	君の椅子2019 A Chair Just for You 2019: On- going Project to Make Chairs for Newborns	2019 (平成31)	ミズナラ	41.0× 32.5× 26.0	平成31年度君の椅子 プロジェクトより受 贈 (平成31年度)	2019021
---	---	---	--	----------------	------	------------------------	--	---------

■資料作品

	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法	収集の経緯	所蔵番号
1	砂澤ビッキ SUNAZAWA Bikky	1931(昭和6)~ 1989(平成元)	崑面 Mask: Joy	1975 (昭和50)	墨、紙	27.5× 21.5	荒井善則氏より受 贈	シ00124
2	砂澤ビッキ SUNAZAWA Bikky	1931(昭和6)~ 1989(平成元)	題不詳 untitled	1979 (昭和54)	木版、紙	32.5× 38.5	荒井善則氏より受 贈	シ00125